

平成25年度予算見積調書

課室名：疾病対策課

担当名：感染症・新型インフルエンザ対策

内線：3572

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B66	新型インフルエンザ対策事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型インフルエンザ対策事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 新型インフルエンザ等対策特別措置法		戦略項目	02	介護の安心		
					分野施策	010301	生涯を通じた健康の確保		
1 事業概要 新型インフルエンザの発生・流行に備えた医療体制等を確保することにより、県民の健康被害や社会的影響を最小限に抑える。 (1) 医薬品確保対策事業 1,245,394千円 (2) 医療体制等整備事業 38,939千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 医薬品確保対策事業 新型インフルエンザの流行に備え、抗インフルエンザウイルス薬を備蓄し、適切に保管する。 イ 医療体制等整備事業 新型インフルエンザの流行に備え、医療体制の確保及び検査体制の強化等を図る。 (2) 事業計画 ア 医薬品確保対策事業 (ア) 抗インフルエンザウイルス薬の購入（使用期限が到来するタミフル58万人分の更新） 1,230,424千円 【更新対象備蓄薬】平成18年度購入分：タミフル29万人分、平成19年度購入分：タミフル29万人分 (イ) 抗インフルエンザウイルス薬の適切な保管（タミフル134万人分、リレンザ15.2万人分） 13,530千円 (ロ) 抗インフルエンザウイルス薬の放出（新型インフルエンザ流行時における備蓄薬の搬出運搬） 1,176千円 (ハ) 抗インフルエンザウイルス薬の廃棄（使用期限が経過したタミフル29万人分の廃棄） 264千円 イ 医療体制等整備事業 (ア) 新型インフルエンザウイルスの検査（衛生研究所における検査） 21,180千円 (イ) 陰圧テントの設置（新型インフルエンザ発生時における県備蓄テントの活用） 10,754千円 (ロ) 地域別対策会議の開催（13保健所各1回） 3,265千円 (ハ) 医療体制整備促進事業（委託事業） 3,066千円 (ニ) 新型インフルエンザ専門家会議の運営（年3回会議開催） 614千円 (ホ) 九都県市新型インフルエンザ対策検討部会（会議、研修会等の開催） 60千円 (3) 事業効果 発生時における県民の健康被害の抑制及び社会機能の維持 抗インフルエンザウイルス薬の行政備蓄量：タミフル134万人分、リレンザ15.2万人分（備蓄目標量を達成） (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 九都県市で連携し、広域的な取組を推進。 (5) その他 【前年からの変更点】 抗インフルエンザウイルス薬の使用期限到来に伴う備蓄薬購入、廃棄及び保管費用の増額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (2)の一部（国1/2・県1/2）									
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） (区分) 衛生費（細目）2 感染症等対策費 (細節) 感染症等対策費 (積算内容) 抗インフルエンザ薬購入費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	1,284,333	国庫支出金	1,892					1,282,441	1,230,374
前年額	53,959		2,002					51,957	